

序章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

上田市の歴史は古く、奈良時代には国分寺、国分尼寺が建立され、信濃国で最初の国府が置かれた地と考えられている。鎌倉時代には、幕府の信濃守護職である北条氏が市内の塩田平に居を構え、三代 60 年に渡りこの地を治めたことで、全国から学問僧が集まり『信州の学海』と称されるほど繁栄した。そのため安楽寺八角三重塔（国宝）をはじめ、数多くの鎌倉時代の歴史的建造物や寺社が残されている。戦国時代の天正 11 年（1583）には、真田昌幸によって上田城が築かれ、城下町が形成されたことで、政治・文化の中心、物資の集散地としてその後長く栄えることとなった。明治から大正時代にかけては、全国有数の蚕種の生産地となり、「蚕都」として隆盛を極めた。また、当市中央に位置する千曲川に流れ込む神川、依田川、その支流の一带には集落が形成され、祇園祭や御柱祭をはじめとする祭礼、獅子舞や大神楽などの民俗芸能が営まれている。また、集落の中には人々の営みや祭礼に関連する歴史的価値の高い建造物が今も多く残されている。

これらの歴史的文化資源の魅力や価値を後世に継承するため、「史跡信濃国分寺跡 保存整備基本計画」の策定（平成 17 年（2005）3 月）や「史跡上田城跡保存管理計画」の策定（平成 24 年（2012）3 月）をはじめとした文化財保護の取組のほか、「上田市景観計画」の策定（平成 24 年（2012）12 月）や「上田市景観条例」の制定（平成 25 年（2013）3 月）など、さまざまな歴史まちづくりに資する取組を行ってきた。

しかしながら、生活様式の多様化や社会環境の変化に伴い、本市固有の歴史・文化は、後継者不足などの問題に直面し、喪失の危機も生じている。また、人口減少・少子高齢化の進行、SDGs や地球環境への意識の高まりといった情勢の変化に応じた都市構造の見直しが必要となってきている。

このようななか、文化財の保存・活用の実効性を高めるため、様々な人や組織による協働を強調した「上田市文化財保存活用地域計画」を作成（令和 4 年（2022）3 月）するとともに、地域の個性が輝く生活快適都市“上田”を目標に掲げ、平成 27 年（2015）3 月に策定した「上田市都市マスタープラン」を社会の変化にあわせ改訂を進めている。これらの上位計画にあたる第二次上田市総合計画では、都市将来像に「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」を掲げ、市民とともに社会情勢の変化に対応した持続可能なまちを目指すとしている。

2. 計画策定の目的

本市を取り巻く状況を踏まえ「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（以下、歴史まちづくり法）」に基づき、次の目的のため本計画を策定する。

- 歴史的建造物や地域固有の活動・営みを明らかにし、それらを保全・継承することへの機運を高めるとともに、郷土の歴史文化に対する誇りを醸成し、住み続けたいと思えるまちの魅力を高める。
- 地域のまちづくりと一体となった歴史的文化的遺産の整備・活用を推進し、まちの個性と独自性を輝かせ、観光の振興及び交流人口の増大、ならびに市全体の活性化につなげる。

3. 計画期間

本計画の期間は、令和5年度（2023）から令和14年度（2032）までの10年間とする。また、必要に応じて計画の見直しを行う。

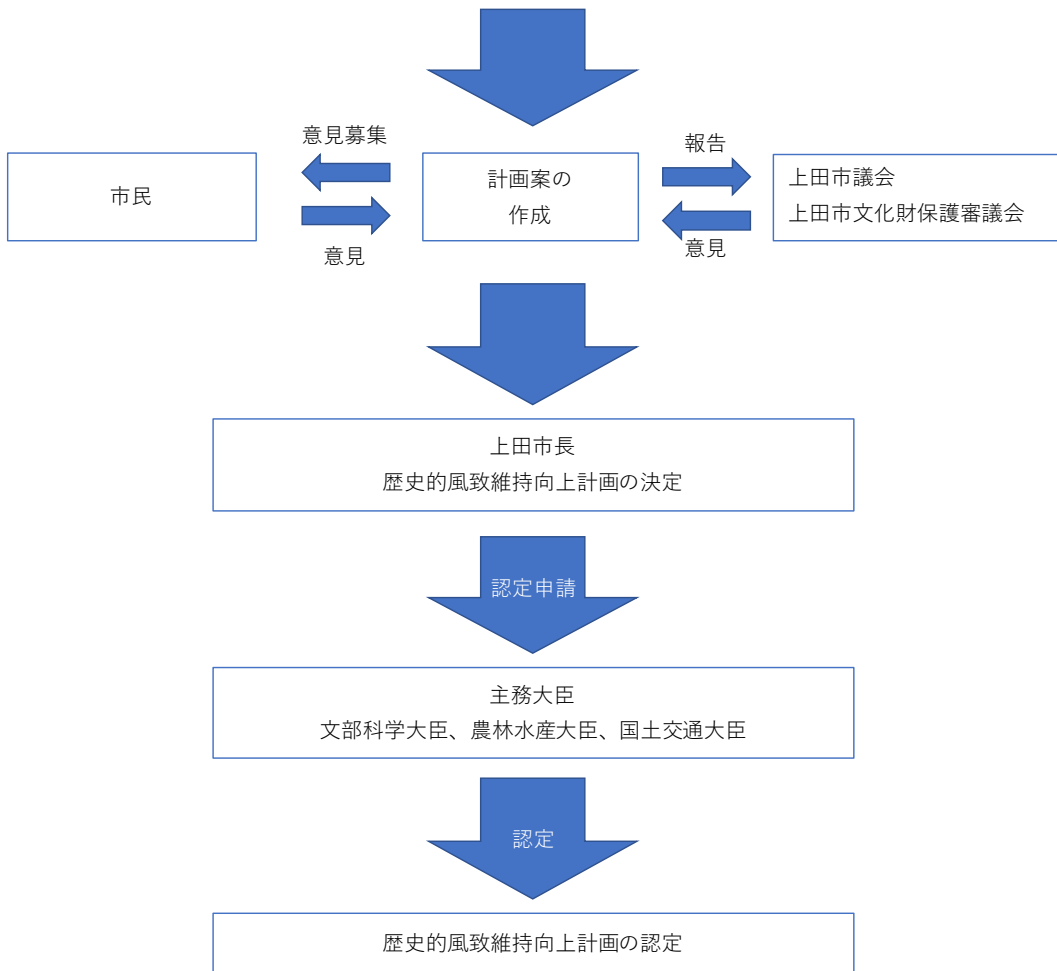
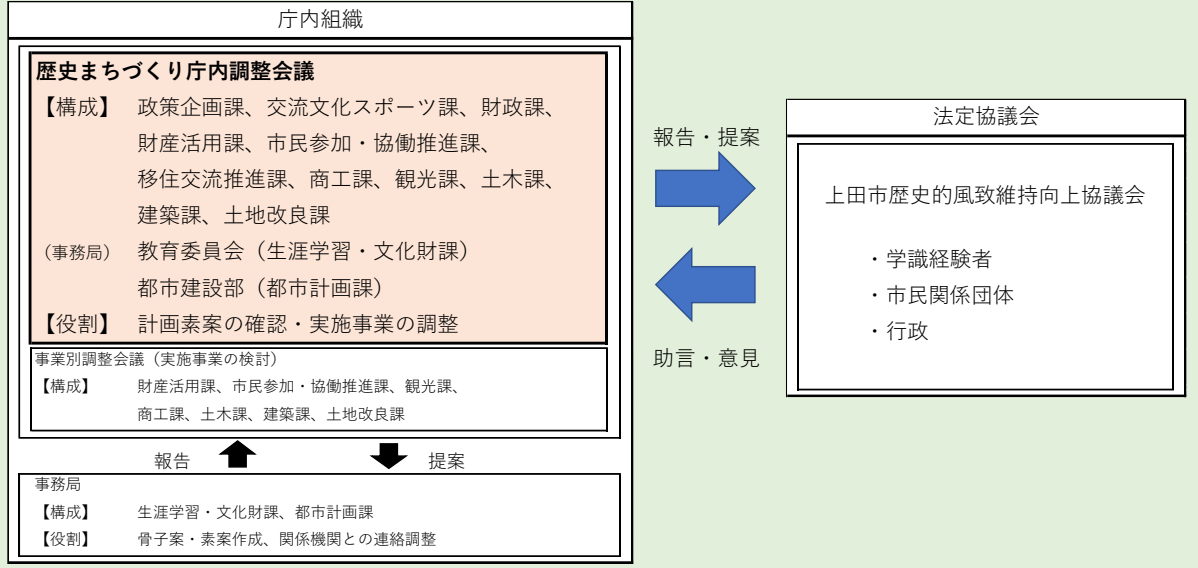
4. 計画の策定体制

生涯学習・文化財課と都市計画課を事務局とし、関係課により組織された庁内調整会議を開催して、計画案を作成した。

また、歴史まちづくり法第11条に基づく法定協議会として、「上田市歴史的風致維持向上協議会」を組織し、計画の検討や合意形成を図った。

パブリックコメントの実施による市民意見の収集や、上田市議会や文化財保護審議会への報告を行い、計画を決定した。

上田市歴史的風致維持向上計画 策定体制



上田市歴史的風致維持向上協議会
第2期委員名簿

種別	分野	委員	所属団体等
学識経験者・団体等	歴史	こだま 児玉 卓文 ◎	元長野県立歴史館
	建築史	つちもと 土本 としかず 俊和	信州大学工学部
	観光	まつした 松下 しげお 重雄	長野大学環境ツーリズム学部
	商工	かさほら 笠原 しょうじ 章嗣	上田商工会議所
	建築	ながしま 長島 みつお 三夫 ○	長野県建築士事務所協会上小支部
	建築	みやじま 宮嶋 えみこ 絵美子	会社員（二級建築士）
	伝統工芸	こいわい 小岩井 カリナ	小岩井紬工房（伝統工芸士）
地域	城下町・北国街道	こばやし 小林 芳夫	中央地区自治会連合会
	西部	やまざき 山崎 ひろし 洋	西部地域まちづくりの会
行政機関	県	長野県県民文化部文化振興課 課長	
		長野県上田建設事務所建築課 課長	
	市	上田市都市建設部 部長	
		上田市教育委員会事務局 教育次長	

(任期：令和6年4月1日から令和8年3月31日まで)

◎：会長, ○：副会長

5. 計画策定（変更）の経緯

日程	内容
令和2年11月14日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和3年3月	上田市文化財保護審議会（書面開催）
令和4年1月13日	市政経営会議
令和4年1月31日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和4年3月14日	第1回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和4年4月18日	第2回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和4年8月9日	第3回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和4年9月16日～10月16日	パブリックコメント
令和4年10月19日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和4年11月10日	第4回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和4年11月28日	上田市議会報告
令和5年2月15日	認定
令和5年6月	令和5年度 第1回歴史まちづくり庁内推進会議（書面開催）
令和6年1月16日	令和5年度 第2回歴史まちづくり庁内推進会議
令和6年2月13日	第5回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和6年2月27日	計画の軽微な変更 届出
令和7年1月15日	歴史まちづくり庁内推進会議
令和7年2月12日	令和6年度 第1回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和7年3月14日	計画の軽微な変更 届出
令和8年1月26日	歴史まちづくり庁内推進会議
令和8年3月17日	令和7年度 第1回上田市歴史的風致維持向上協議会
令和8年4月7日	計画の軽微な変更 届出